



優勝チーム「どらねこ」のみなさん

## 白熱したラリーを繰り広げた「ソフトバレー大会」

第21回四万十町ソフトバレーボール大会が6月6日に四万十町窪川B&G海洋センターで開催されました。今年は中学生チームを含む6チームが参加し、幅広い年代の選手が集いにぎやかな大会となりました。

試合では、コートのあるあちこちで白熱したラリーが繰り広げられ、選手からは「疲れたー!」という、うれしい悲鳴が上がるほど、どのチームも全力を尽くしました。

優勝の「どらねこ」は全試合ストレート勝ちという、日頃の練習の成果をこれ以上ない形で発揮できた大会となりました。



親子でトレーニングを行っている様子

## 「スポーツリズムトレーニング」で脳も一緒に鍛えよう！

「スポーツリズムトレーニング」を知っていますか？身体を鍛えるという意味ではなく、身体を動かしながら「脳を鍛える」トレーニングです。くぼかわスポーツクラブの主催により6月14・28日の2日間開催されたこのトレーニングは、子どもたちの基礎体力向上や運動能力の発達に効果的とされています。音楽に合わせ自然とリズム感が生まれ、参加した子どもたちは終始笑顔で体を動かし、楽しい教室になりました。

協力：一般社団法人 高知県スポーツコミッション



窪川支部の奥田福恵さん（左）と嶋岡美代子さん（右）

## 功労者表彰を四万十町の2名が受賞！

「高知県交通安全母の会連合会功労者表彰」の授与式が高知会館にて6月19日に行われました。

四万十町からは、窪川支部の奥田福恵さん、嶋岡美代子さんが受賞しました。受賞者の2名は、約20年以上にわたり、春と秋、年末年始の交通安全運動期間中の啓発活動により、町民の交通安全思想の普及に大きく寄与されています。また、交通安全だけでなく、高齢者宅を訪問し防犯の呼びかけなどにも尽力されました。今回の受賞は、それらの功績が認められたものです。



汗を流した後、参加者全員で集合写真

## 暑さに負けない！硬式テニス大会

第17回四万十町硬式テニス大会が、四万十町窪川運動場で6月21日に開催されました。当日は厳しい暑さとなりましたが、参加した選手たちは爽やかな汗を流し、テニスを通して笑顔で交流を深めていました。結果は以下のとおりです。

### 男子の部

- 1位 細川良孝・大川崇ペア 須崎市
- 2位 壬生和孝・森田尊之ペア 四万十町
- 3位 宮崎守平・中平俊二ペア 四万十町

### 女子の部

- 1位 武石恵美・川田由子ペア 高知市
- 2位 武田利枝・壬生沙智子ペア 四万十町
- 3位 市川千賀子・室谷千鶴ペア 須崎市



小型ポンプ操法の部で消防団魂を発揮した昭和分団

## 昭和分団「高知県消防操法大会」に出場！

「令和8年度高知県消防操法大会」が高知県消防学校で6月28日に開催されました。高知県内の各地区予選を勝ち抜いてきた精鋭14チームが参加しました。四万十消防団からは昨年、予選を勝ち抜いた昭和分団が小型ポンプ操法の部に出場し、日頃の訓練で培った技術を精鋭相手に披露してきました。健闘しましたが、惜しくも全国大会への切符はつかめませんでした。「これからも災害から四万十町を守るため、日々精進してまいります」と活動への力強い決意が語られました。地域の安全・安心を守る消防団の皆さんの、今後のさらなる活躍にご期待ください。



第1回四万十町事前復興まちづくり計画策定委員会の様子

## 津波防災まちづくりの推進に向けた協定締結

町は6月30日、独立行政法人都市再生機構と「四万十町における津波防災まちづくりの推進に向けた協定」を締結しました。同機構をオブザーバーに迎え、7月2日には第1回四万十町事前復興まちづくり計画策定委員会を開催しました。今後は、興津地区・志和地区での地域検討会（ワークショップ）で出た意見を策定委員会で審議・整理し、検討を重ねながら各地域の事前復興まちづくり計画を取りまとめ、令和9年度の完成を目指します。



楽しみたいさん！にぎわう本町商店街

## 金太郎夜市 オープニングイベント開催

第56回金太郎夜市が7月10日から、本町商店街で始まりました。初日はオープニングイベントとして、窪川中学校吹奏楽部による華やかな演奏で幕開け。夏を感じさせる親しみやすいメロディーが会場に響き渡りました。テープカットの後には恒例のもちまきが行われ、「こっちこっち！」という歓声とともに大勢の来場者が集まり、会場は熱気に包まれました。商店街には商工会青年部による出店や、地元飲食店の屋台などが並び、訪れた親子連れなどが夏の夜のひとときを楽しんでいました。



ラフティングを終えて笑顔がキラリ

## わんぱく学校開催！

わんぱく学校では、青少年の健全育成を目的に年間を通してさまざまな体験行事を開催しています。7月12日はラフティング・ジップライン体験！町内、総勢40名の児童が参加しました。初めて体験するという子も多い中、ラフティングでは掛け声を合わせてボートを漕ぎ、ジップラインでは励ましあいながら一歩踏み出し、飛んでいました。みんなで協力しながら乗り越えたことで、違う学校や異なる学年の友達もたくさんできたことでしょう。子ども達の笑顔がキラキラ輝いていました。